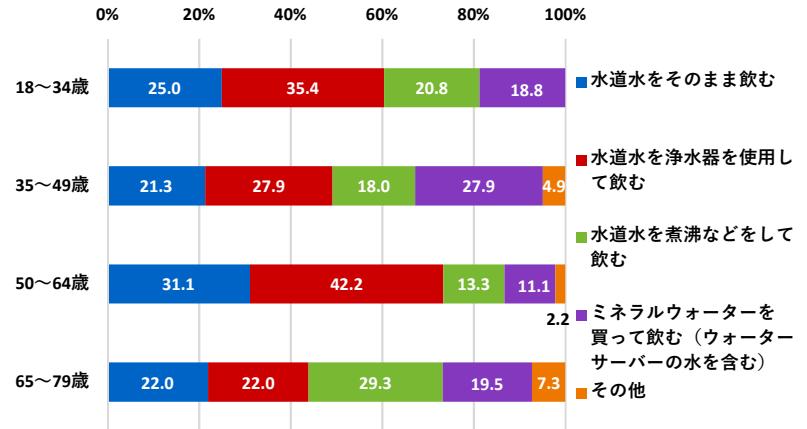
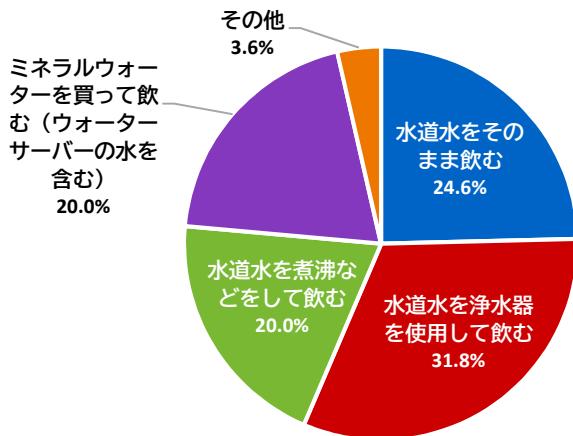


# 1 上下水道に関する取り組みについて

(上下水道部 上下水道総務課)

## ■ 問1 主に飲料用の水をどのようにして飲んでいるか

(n = 195)

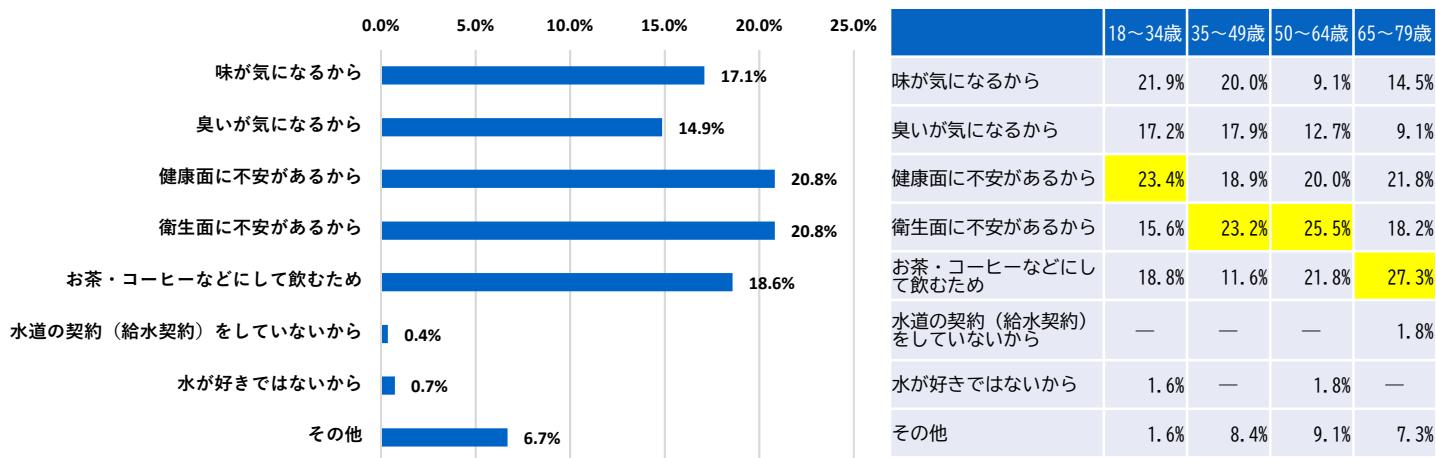


- 主に飲料用の水をどのようにして飲んでいるかについて「水道水を浄水器を使用して飲む」が31.8%、次いで「水道水をそのまま飲む」が24.6%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と50～64歳では「水道水を浄水器を使用して飲む」が、35～49歳では「水道水を浄水器を使用して飲む」と「ミネラルウォーターを買って飲む（ウォーターサーバーの水を含む）」が同率で、65～79歳では「水道水を煮沸などをして飲む」が最も多くなっています。
- その他では、「井戸水を使用している」や「スーパーなどにある無料で持ち帰ることができる水を飲んでいる」などがあります。

## ■ 問2 水道水をそのまま飲まない理由はなにか

(n = 147 複数回答)

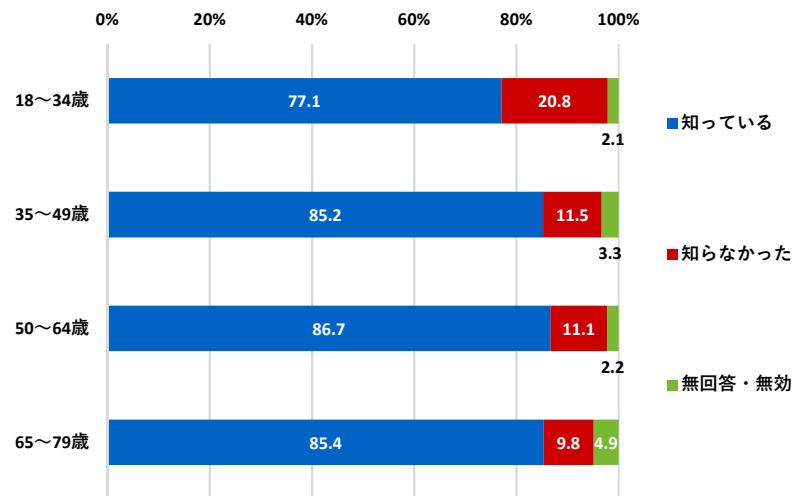
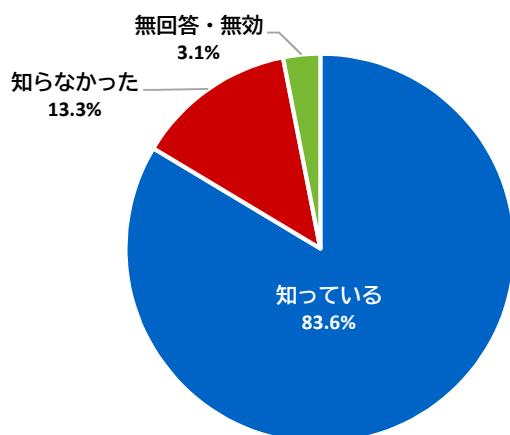
(問1で「水道水を浄水器を使用して飲む」「水道水を煮沸などをして飲む」「ミネラルウォーターを買って飲む（ウォーターサーバーの水を含む）」「その他」と回答された方)



- 水道水をそのまま飲まない理由については、「健康面に不安があるから」と「衛生面に不安があるから」が20.8%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳では「健康面に不安があるから」が、35～49歳と50～64歳では「衛生面に不安があるから」が、65～79歳では「お茶・コーヒーなどにして飲むため」が最も多くなっています。
- その他では、「ペットボトル飲料を購入するため、水道水を飲む機会がない」や「基準が十分でないと感じるから」などがあります。

### ■ 問3 飲み水の安全性を確保するため、水道水は水道法によって水質基準が定められていることを知っているか

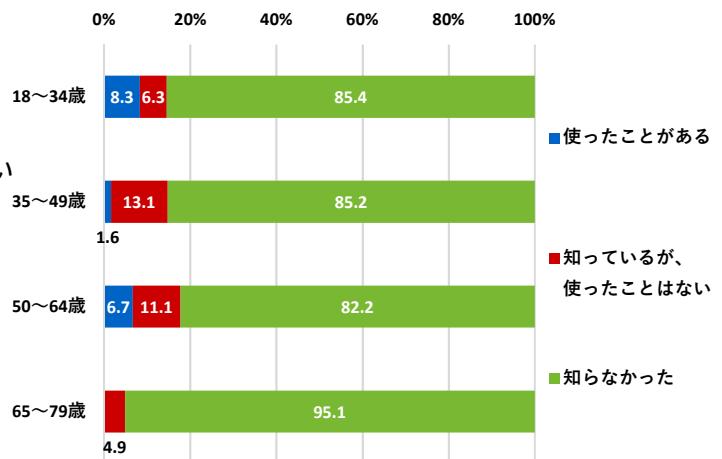
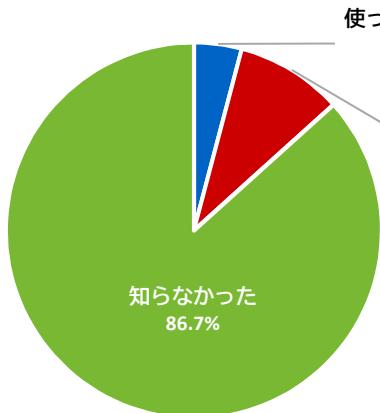
(n = 195)



- 飲み水の安全性を確保するため、水道水は水道法によって水質基準が定められていることを知っているかについて、「知っている」が83.6%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「知っている」が最も多くなっています。

### ■ 問4 浜松市水道窓口クラウドサービスアプリ・WEBサイト「すいすい」を知っているか

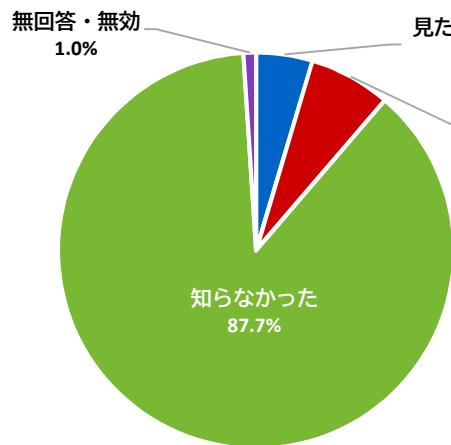
(n = 195)



- 浜松市水道窓口クラウドサービスアプリ・WEBサイト「すいすい」を知っているかについて、「知らなかった」が86.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「知らなかった」が最も多くなっています。

## ■ 問5 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を知っているか

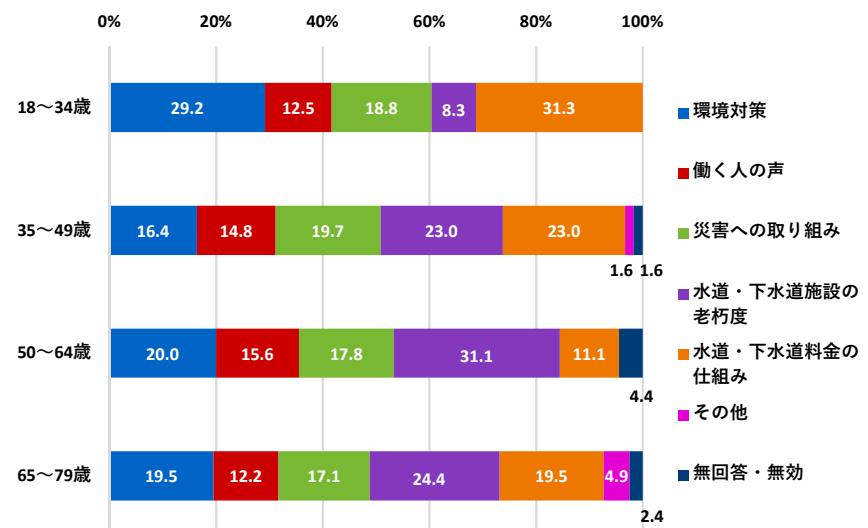
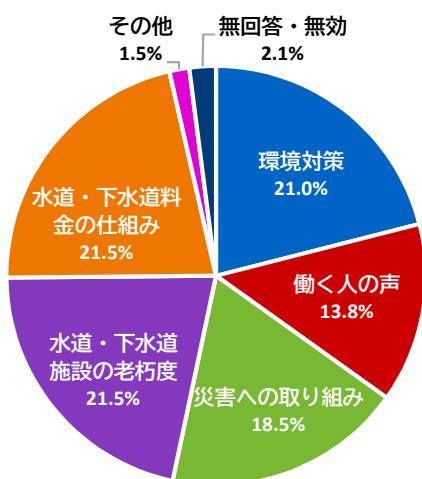
(n=195)



- 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を知っているかについて、「知らなかつた」が最も多く87.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「知らなかつた」が最も多くなっています。

## ■ 問6 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」にどのようなコンテンツがあるとよいか

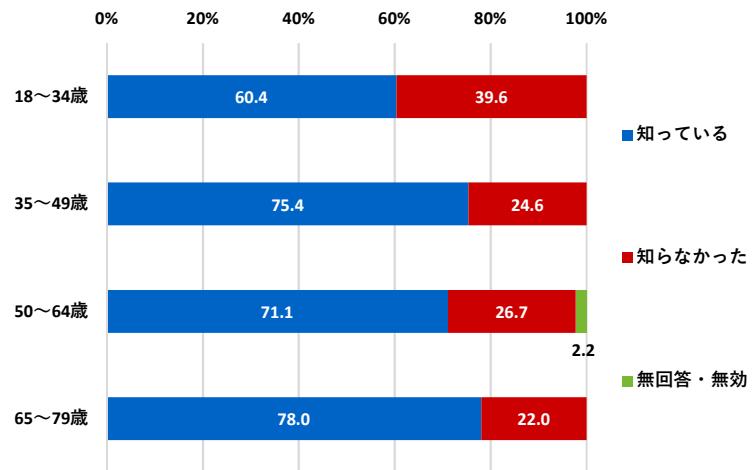
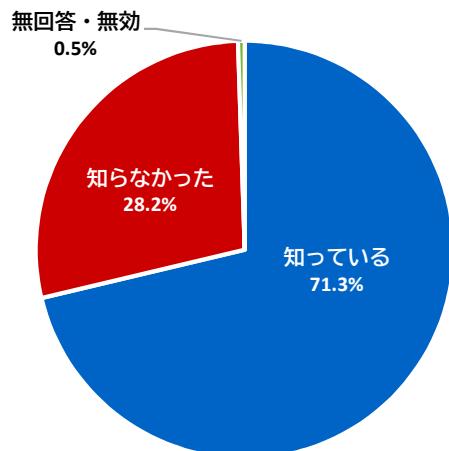
(n=195)



- 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」にどのようなコンテンツがあるとよいかについて、「水道・下水道施設の老朽度」「水道・下水道料金の仕組み」が21.5%、次いで「環境対策」が21.0%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳では「水道・下水道料金の仕組み」が、35～49歳では「水道・下水道施設の老朽度」と「水道・下水道料金の仕組み」が同率で、50～64歳と65～79歳では「水道・下水道施設の老朽度」が最も多くなっています。

## ■ 問7 災害時の飲料水として「1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル」の備蓄が必要であることを知っているか

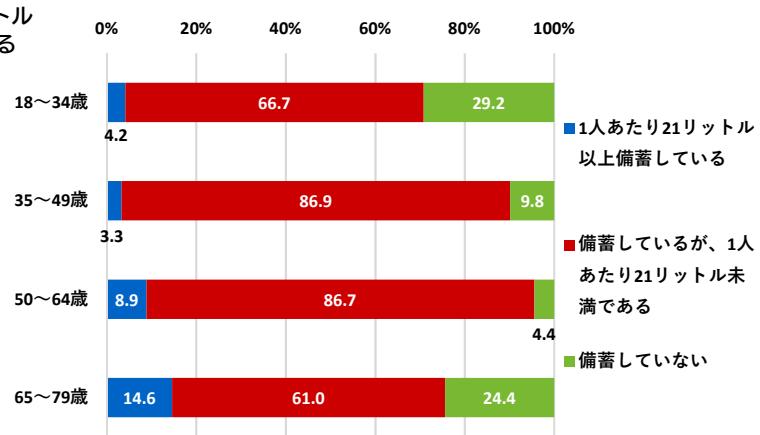
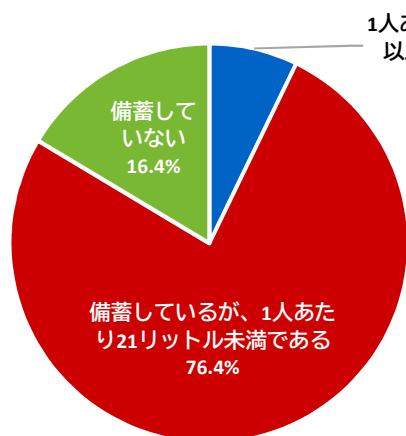
(n=195)



- 災害時の飲料水として「1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル」の備蓄が必要であることについて「知っている」が71.3%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「知っている」が最も多くなっています。

## ■ 問8 災害用として飲料水を備蓄しているか

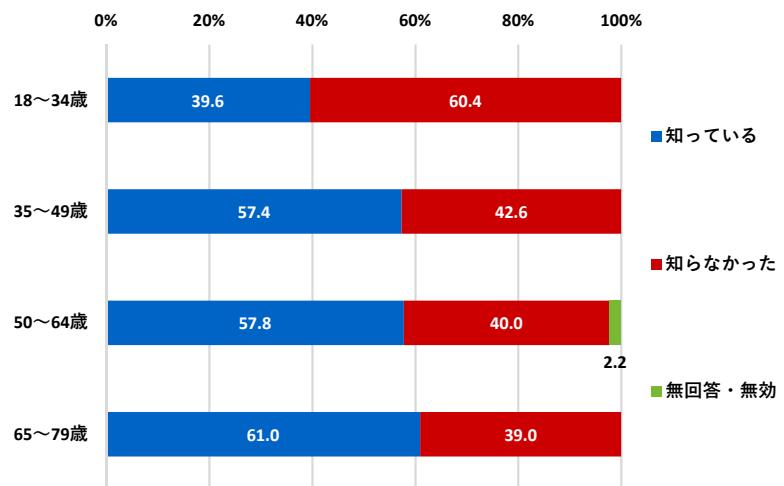
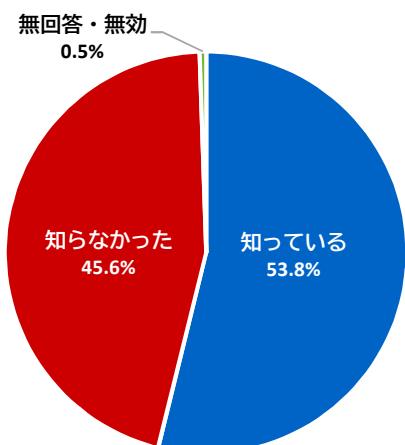
(n=195)



- 災害用として飲料水を備蓄しているかについて、「備蓄しているが、1人あたり21リットル未満である」が76.4%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「備蓄しているが、1人あたり21リットル未満である」が最も多くなっています。

## ■ 問9 地震などの災害時、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合、どう行動したらよいか知っているか

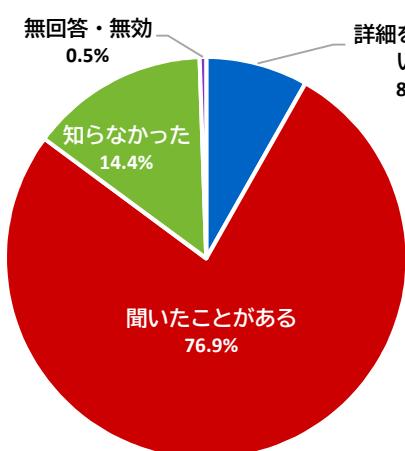
(n=195)



- 地震などの災害時、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合、どう行動したらよいか知っているかについて、「知っている」が53.8%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳では「知らなかった」が、その他の世代では「知っている」が最も多くなっています。

## ■ 問10 近い将来、地中の水道管や下水管の多くが老朽化を迎える、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることを知っているか

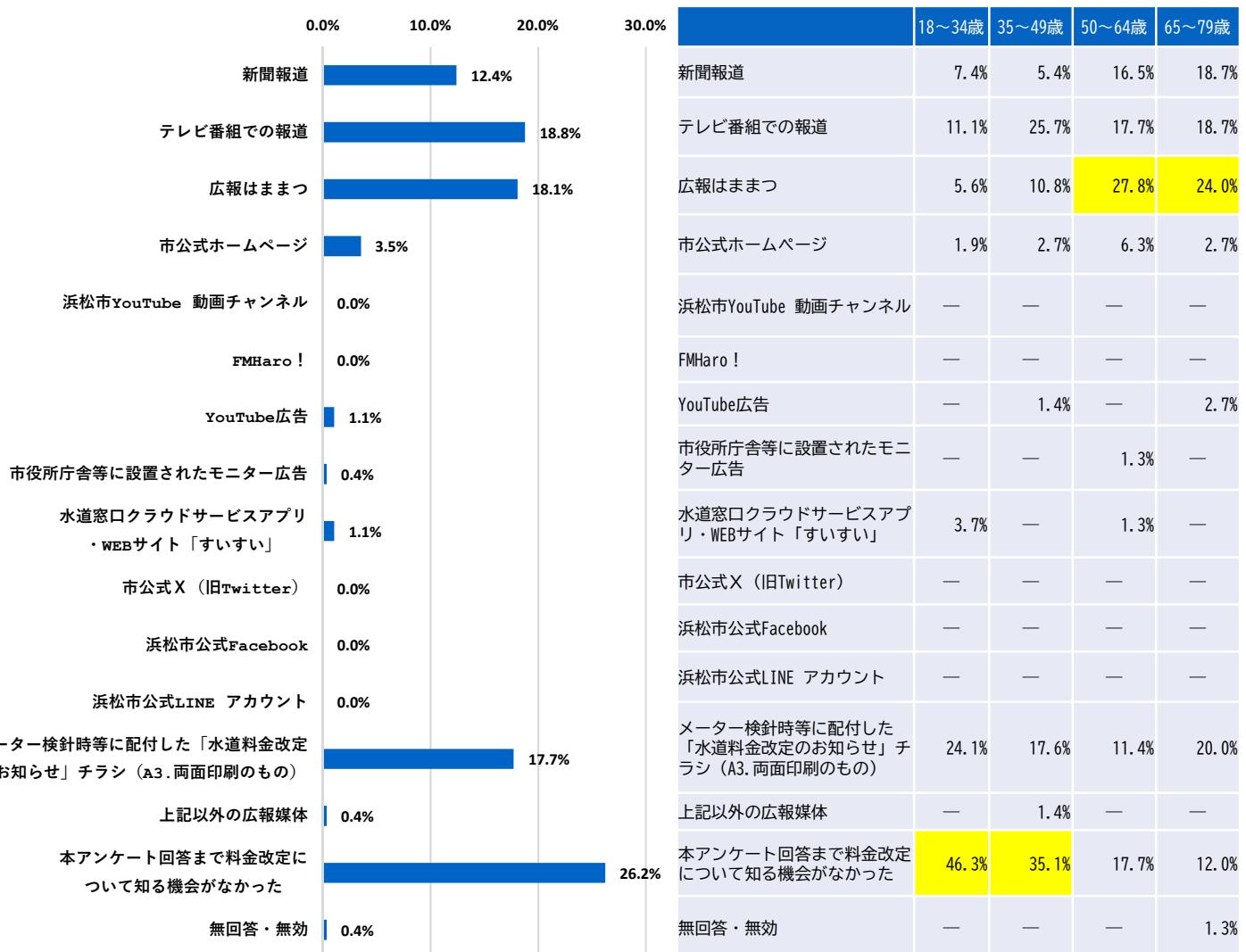
(n=195)



- 近い将来、地中の水道管や下水管の多くが老朽化を迎える、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることを知っているかについて、「聞いたことがある」が76.9%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「聞いたことがある」が最も多くなっています。

## ■ 問11 令和7年10月からの水道料金の改定について見た広報媒体はどれか

(n = 195 複数回答)



- 令和7年10月からの水道料金の改定について見た広報媒体は、「本アンケート回答まで料金改定について知る機会がなかった」が26.2%、次いで「テレビ番組での報道」が18.8%となっています。
- 世代別にみると、18~34歳と35~49歳では「本アンケート回答まで料金改定について知る機会がなかった」が、50~64歳と65~79歳では「広報はまつ」が最多くなっています。